

鷗工舎 小川三夫棟梁 対談講演会

(第38回全国削ろう会北海道いわみざわ大会同時開催)

西岡常一棟梁との内弟子時代の体験、鷗工舎における弟子の育成を踏まえて大工の仕事に対する作法と人を育てる心構えなどを現役大工棟梁と見習大工卒業の若手大工との対話の中で語ってまいります。

講演：小川 三夫 棟梁



〈略歴〉

1947年、栃木県生まれ。
高校のとき修学旅行で法隆寺を見て感激し、宮大工を志す。
21歳の時に法隆寺宮大工の西岡常一棟梁に入門。唯一の内弟子となる。
法輪寺三重塔、薬師寺西塔、金堂の再建では副棟梁を務める。
1977年、独自の従弟制度による寺社建築会社「鷗工舎」を設立。
数々の寺社建築の棟梁を務める。
2003年「現代の名工」に選出。
2007年棟梁の地位を後進に譲る。
著書に『宮大工と歩く奈良の古寺』（文春新書）、『棟梁 技を伝え、人を育てる』（文春文庫）
『不揃いの木を組む』（文春文庫）、『木のいのち木のころ（地）』（草思社）等がある。

対談者：大工ネットワーク北海道代表 船田 慎人（武部建設大工棟梁）
（仮称）全国女性大工の会 柳原 万智子（武部建設大工）



2000年入社 大工歴22年



2018年入社 大工歴4年

コーディネーター：羽深 久夫（NPO法人 北の民家の会代表理事、札幌市立大学名誉教授）



〈略歴〉

1955年（昭和30年）3月19日生まれ
1987.3 東京工業大学大学院理工学研究科博士後期課程建築学専攻単位取得満期退学
2000.3 熊本大学大学院より博士（工学）取得
1995.4 恩師平井聖先生の勧めで、清家清先生が校長の札幌市立高等専門学校デザイン学科に着任
2010.4 公立大学法人札幌市立大学大学院デザイン研究科 教授
2020.3 公立大学法人札幌市立大学 退職
2020.8 公立大学法人札幌市立大学 名誉教授
東京工業大学工学部付属工業高等学校専攻科非常勤講師、放送大学大学院客員教授を歴任。

会場：岩見沢コミュニティプラザ自治体ネットワークセンター
4階マルチメディアホール

日時：2022年10月15日（土）16:00～17:00 先着：70名（予定）

事前申込（無料）が必要です。全国削ろう会HPから申込書をダウンロードしてFAXでお申し込みください。

URL:<https://kezuroukai.wixsite.com/2022iwa>